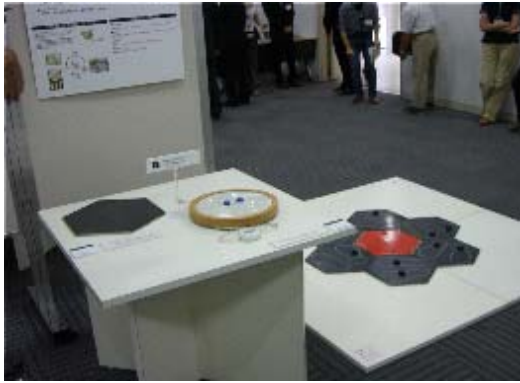




昨年の会場風景

平成23年6月14日(火)
愛知県産業技術研究所 瀬戸窯業技術センター
担当 製品開発室 寺井、光松
電話 0561-21-2116、2117
愛知県産業労働部地域産業課
担当 技術振興・調整グループ 津本、加藤(久)
内線 3360、3361
(ダイヤルイン)052-954-6340

「陶&くらしのデザイン展2011」を瀬戸蔵^{せとぐら}で開催します ー愛知県産業技術研究所はじめ全国の試験研究機関が出展ー

愛知県産業技術研究所はじめ、陶磁器に関係する全国の試験研究機関が取り組んだデザイン開発の成果や試作品を一堂に集めて公開展示する「陶&くらしのデザイン展¹ 2011」の本展²を、7月6日(水)から13日(水)までの8日間、瀬戸蔵(瀬戸市)で開催します。

展示会では、陶磁器を中心とした食器やインテリア用品が展示され、愛知県産業技術研究所からは、瀬戸窯業技術センターが企業と共同開発した、照射した光が消えた後にも^{りんこう} 燐光を発する「蓄光粘土^{ちっこうねんど}」や、^{がいし} 碇子の原材料及び製造法を用いて作製した「干支^{えと}置き物^{おきもの}」、及び地元陶磁器業界の新しい取組状況や当センターの活動内容を紹介した「DVD」を出展します。その他にも、今回の展示では、2001年から2010年の^{せんしょう} 選奨³の特別コーナーも併設されます。

1 展示会の概要

(1) 名称

陶&くらしのデザイン展2011

(2) 会期

平成23年7月6日(水)から7月13日(水)までの8日間

午前10時から午後6時まで(初日は、午後2時から、最終日は午後4時まで)

(3) 会場

瀬戸蔵(4階多目的ホール)

〒489-0813 瀬戸市蔵所町1番地の1 TEL0561-97-1555

(4) 入場料

無料

(5) 出展機関

陶磁器に関係する全国の試験研究機関 11機関(別掲)

(6) 展示内容

陶磁器を中心としたインテリア・エクステリア用品などの試作品やデザイン提案（開発コンセプトや製品アイデア）など、全国の試験研究機関が独自に、あるいは地域の企業・業界と共同で開発した成果品を展示します。

人と環境にやさしいものづくりや地域ブランドの確立に向けた意識が高まりを見せる中、それぞれの産地が目指すべき技術課題やテーマに沿って開発に取り組んだ成果を展示します。

(7) 主催

陶&くらしのデザインコンソーシアム⁴

(8) 共催

瀬戸市、瀬戸焼振興協会、瀬戸地域窯業技術協議会
愛知県産業技術研究所瀬戸窯業技術センター

2 愛知県産業技術研究所瀬戸窯業技術センターの出展内容

- ・ 太陽光や人工照明を照射して、その光が消えた後にも燐光を発する「蓄光粘土」^{ちっこうねんど}
- ・ 碍子の原材料及び製造法を用いて作製した「干支置物」^{がいし}
- ・ 地元陶磁器業界の新しい取組状況や当センターの活動内容を紹介した DVD
- ・ 2009 年の銀賞選奨に選ばれた、「多目的食器」^{たもくてきしよつき}と「和みの碾臼」^{なご ひきうす}を特別コーナーに出展



「蓄光粘土」焼成サンプル



「干支置物シリーズ」



瀬戸ブランド PR 用 DVD



2009 年銀賞受賞「多目的食器」及び「和みの碾臼」



3 併催行事

・講演会

- (1)テーマ:「異業種との協業で、焼き物の新たな可能性を皆さんで創造しませんか？」
- (2)講師: オフィス タブ 代表 田淵正彦氏 ⁵
- (3)日時: 平成23年7月7日(木) 15時から17時まで
- (4)会場: 瀬戸蔵 4階 第2、第3会議室
- (5)定員: 35名(事前申し込み: 先着順)
- (6)参加料: 無料

4 講演会の申込み及び問合せ先

愛知県産業技術研究所 瀬戸窯業技術センター製品開発室

〒489-0965 瀬戸市南山口町 537

電話: 0561-21-2116 FAX: 0561-21-2128

担当: 寺井、光松

URL: <http://www.aichi-inst.jp/seto/>

(参考) 出展機関 (11機関)

独立行政法人産業技術総合研究所サステナブルマテリアル研究部門

茨城県工業技術センター窯業指導所「匠工房・笠間」

岐阜県セラミックス研究所

土岐市立陶磁器試験場・セラテクノ土岐

瑞浪市窯業技術研究所

愛知県産業技術研究所瀬戸窯業技術センター

三重県工業研究所窯業研究室

福井県工業技術センター

滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場

京都市産業技術研究所

長崎県窯業技術センター

【用語解説】

1 陶&くらしのデザイン展

この展示会は、デザインや技術が人々の生活を潤すとともに、産業の活性化に寄与している姿を実感してもらうことを目的に、昭和39年に陶磁器試験研究機関作品展として発足し、その後、陶&くらしのデザイン展へと名称が変更になりました。今回は通算で48回目の開催となります。

2 本展

陶&くらしのデザイン展は、本展と巡回展で構成されています。

本展は、その年の最初の展示会であるのに加え、講習会などの併催行事が開催される規模の大きなイベントです。本展が瀬戸で開催されるのは6年連続6回目です。

巡回展は、本展開催後に全国を巡回する展示会で、今回は10月に次の窯業地を巡ります。

○岐阜展：10月8日(土)～10月11日(火) 9:00～17:00 セラトピア土岐

○京都展：10月26日(水)～10月30日(日) (29日は休日)

10:00～17:00 京都市産業技術研究所

3 選奨

「陶&くらしのデザイン展」への出展機関等から出席して開催される、公設試験研究機関デザイン担当者会議の中で選定される賞で、評価の高いものから金賞、銀賞、銅賞が決定されます。

4 陶&くらしのデザインコンソーシアム

陶磁器、ガラス、金属、紙などの素材を活用した、くらしに関わる用品のデザインや製造技術に関する情報発信、技術交流を目的に、独立行政法人産業技術総合研究所が中心となって、全国の主な窯業地の試験研究機関や業界団体が、平成17年に組織したコンソーシアム(共同事業体)で、デザイン展の開催や研究発表などを行っています。

陶&くらしのデザインコンソーシアム事務局

独立行政法人 産業技術総合研究所 中部産学官連携センター

〒463-8560 名古屋市守山区下志段味穴ケ洞 2266-98

電話:052-736-7055 FAX:052-736-7403

5 田淵正彦氏

たぶちまさひこ

オフィス タブ 代表。1982年、(株)東芝デザイン部入社。2001年、(株)ヤマダ入社。2004年、シャープ産業(株)入社。2011年、企画・開発個人事務所 TAB.(タブ)を設立。名古屋市在住。現在、半月を日本、残り半月を中国広東省で活動されています。

また、数多くのグッドデザイン賞も受賞されています。